

- 1 日時 平成18年10月26日(木) 6時間目(14:30~15:20)
- 2 対象 1年4組 (男子17名、女子22名 計39名)
- 3 場所 大講堂
- 4 指導と展開

教科(科目)	公民科(現代社会)	教科書	東京書籍 現代社会	副教材	浜島書店 ニュービジョン 現社
単元	第2部 現代の社会と人間	第2章	現代の経済と国民福祉	4	豊かな生活の実現
小単元 指導計画	自立した消費者への道 労働者の権利 現代の雇用・労働問題 社会保障の役割 公害の防止と環境保全	1時間 2時間 1時間 2時間 2時間	1時間 2時間 1時間 2時間 2時間	・・・本時	1時間目 計8時間
本時の主題 社会保障の意義 と 日本の社会保障制度					
本時の目標 1 社会保障制度確立の経過と制度の意義を世界史的な流れの中で考えさせる。 2 日本における社会保障制度の概要、特に年金制度の基本的な内容を理解させる。 3 スライド、プリント資料などの活用により効果的な学習姿勢と理解を目指す。					
	指導内容	学習活動	指導上の留意点	ねらいと評価	
導入 5	社会保障への興味・関心 本時の学習主題と目標の確認	保険証がない場合の医療費を 考える。	通院や入院の経験を材料 とする。	身近な中での社会保障に興 味関心を持つことができる。 観察 (関)	
展 開 7 4 0	(1)社会保障の意義 社会保障制度 国や自治体が国民の健康や生活を保障 社会保障制度確立 17c イギリス エリザベス救貧法 19c ドイツ ビスマルク 疾病保険法他 20c イギリス ハバリッジ 報告(1942) すべての国民に最低限度の生活保障 権利としての社会保障制度確立	教科書(1)の範囲 黙読 社会保障制度の考え方 社会保障制度年表の確認 制度の起源と意義 制度の背景と意義 ハバリッジ 報告の意義	学習内容の把握 日本との年代差を確認。 医療保険の先駆的意義。 「ゆりかごから墓場まで」 の意味を確認させる。	社会保障の考え方の理解す ることができる。(思) 発言 ハバリッジ 報告の意義を理解 することができる。(思) 発言	
	(2)日本の社会保障制度 日本国憲法25条「生存権」(1946) 朝日訴訟と社会保障制度の拡充 日本の社会保障 四つの柱 ア 社会保険 医療・年金・雇用・労災・介護 イ 公的扶助 生活保護・その他社会保険 ウ 公衆衛生 医療・環境 エ 社会福祉 児童・障害者・老人 具体例として「年金制度」の理解	教科書(2)の範囲 黙読 憲法25条の条文音読(指名) 日本の社会保障制度一覧より 社会保険の種類を確認 公的扶助の内容を確認 公衆衛生の内容を確認 社会福祉の内容を確認 制度の概要を説明 プリントへの解答	学習内容の把握 社会保障の概要を確認さ せる。 中学での学習を踏まえ 内容を確認させる。 年金制度について説明	生存権と社会保障の関係に ついて理解することができる。 (知) 発言 日本の社会保障制度の概要 を理解することができる。 発言 (知) 年金制度の内容理解に意欲 的に取り組むことができる。 観察 (関)	
ま と め 5	本時学習内容の確認と評価 次回学習の予告	権利としての社会保障 日本の社会保障四つの柱 年金制度の概要 次時の学習範囲を確認		観察	